

G1 会場

23号館 23-201

ディスプレイ材料の開発最前線

3月28日午前

OLED

(9:00~9:10)

3G1-01 オーガナイザー挨拶 (名大院工) 森 竜雄 (09:00~09:10)

座長 森 竜雄 (9:10~11:40)

3G1-02 基調講演 新奇な有機半導体材料を用いた有機発光デバイスへの挑戦 (九大最先端有機光エレクトロニクス研究センター) 安達千波矢 (09:10~10:00)

3G1-07 インキュベーションタイム (10:00~10:10)

OLEDディスプレイ

3G1-08 招待講演 有機 EL 方式スクーラブルディスプレイの開発 (三菱電機) ○原 善一郎・寺崎信夫 (10:10~10:50)

3G1-12 インキュベーションタイム (10:50~11:00)

3G1-13 依頼講演 透明有機 EL とその関連技術 (東京工芸大工) 内田孝幸 (11:00~11:30)

3G1-16 インキュベーションタイム (11:30~11:40)

3月28日午後

座長 安達 千波矢 (13:00~14:20)

3G1-25 依頼講演 トップエミッション有機 EL デバイスにおける半透明陰極の検討 (シャープ 先端材料エネ研) ○藤田悦昌・岡本 健・向殿充浩・近藤克己 (13:00~13:30)

3G1-28 インキュベーションタイム (13:30~13:40)

3G1-29 依頼講演 有機 EL ディスプレイ付スイッチの開発及び市場動向について (日本閉閉器工業) 大貫一光 (13:40~14:10)

3G1-32 インキュベーションタイム (14:10~14:20)

OLED照明

座長 内田 孝幸 (14:20~16:30)

3G1-33 招待講演 有機 EL 照明の開発動向と将来展望 (パナソニック 電工 先行技術開発研究所) ○菟田卓哉・井出伸弘・辻 博也 (14:20~15:00)

3G1-37 インキュベーションタイム (15:00~15:10)

3G1-38 依頼講演 塗布型りん光材料を用いた有機 EL 照明 (昭和電気 研究開発センター) 近藤邦夫 (15:10~15:40)

3G1-41 インキュベーションタイム (15:40~15:50)

3G1-42 依頼講演 商品化迫る有機 EL 照明 (NEC ライティング) 東口 達 (15:50~16:20)

3G1-45 インキュベーションタイム (16:20~16:30)

3月29日午前

OLED材料及び関連部材

座長 梶 弘典 (9:00~10:30)

4G1-01 招待講演 ポリマーブレンド型高分子 EL 素子: 高効率かつ長寿命な高分子 EL 素子の実現 (北陸先端大マテリアルサイエンス) ○村田英幸・阿部淳一 (09:00~09:40)

4G1-05 インキュベーションタイム (09:40~09:50)

4G1-06 依頼講演 高分子 OLED 材料の最新開発状況 (住友化学) 山田 武 (09:50~10:20)

4G1-09 インキュベーションタイム (10:20~10:30)

座長 高田 徳幸 (10:30~11:50)

4G1-10 依頼講演 有機 EL 用高速電子輸送材料の開発 (信州大繊維・JST さきがけ) 市川 結 (10:30~11:00)

4G1-13 インキュベーションタイム (11:00~11:10)

4G1-14 依頼講演 プラスチック基材への高品質 ITO 薄膜の作成 (三容真空工業) 小川倉一 (11:10~11:40)

4G1-17 インキュベーションタイム (11:40~11:50)

3月29日午後

OLED解析技術

座長 村田 英幸 (13:00~14:30)

4G1-25 招待講演 NMR による有機 EL 分子の配向および劣化解析 (京大化研・九大 OPERA・日産化学工業) ○梶 弘典・福島達也・福地将志・山本順一・藤村 昂・八尋正幸・平田修造・ホ ヒョジョン・平田 修・柴野佑紀・安達千波矢 (13:00~13:40)

4G1-29 インキュベーションタイム (13:40~13:50)

4G1-30 依頼講演 有機膜へのスパッタダメージの可視化法 (産総研 光技術) ○高田徳幸・末森浩司・星野 聰・鎌田俊英・茨木伸樹 (13:50~14:20)

4G1-33 インキュベーションタイム (14:20~14:30)

座長 市川 結 (14:30~15:10)

4G1-34 依頼講演 時間分解光導波路分光法による青燐光材料の逆エネルギー移動の直接観測 (富士フイルム 解析技術センター・東北大多元研) ○平山平二郎・菅原美博・藤村秀俊・宮下陽介・三ツ石方也・宮下徳治 (14:30~15:00)

4G1-37 インキュベーションタイム (15:00~15:10)



科学技術系グラフ作成・データ分析ソフト

ORIGIN® 8.5

Data Analysis and Graphing Software

実験データの分析、論文等のグラフ作成にはOriginが最適!

基本的な折れ線・散布図から、極座標グラフ、スミスチャート、3D 曲面図、等高線図などの特殊・複雑なグラフまで、約100種類のグラフタイプがサポートされています。また、グラフテンプレートを利用することにより、グラフのスタイルをそろえることも簡単。Origin のグラフは非常に美しく、高品質・高解像度で出力できるため、学術論文や専門書などでも広く利用されています。

正規販売元

株式会社ライトストーン

〒130-0026 東京都墨田区両国4-30-8 両国YAビル 6F

TEL 03-5600-7201 FAX 03-5600-6671

e-Mail sales@lightstone.co.jp (営業部)



新バージョン登場!

3Dグラフが大幅に強化
Windows 7に対応

Originの最新情報はWebで!

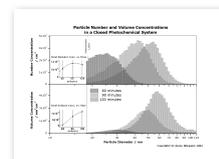
<http://origin.lightstone.co.jp/>

Origin 8.5のグラフの新機能

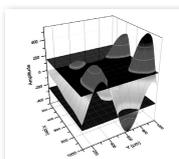
グラフの透過表現

3Dグラフの強化

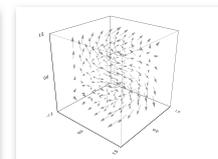
新しいグラフタイプ



シンボル、面、棒などに透過設定!



3D曲面の交差を表現可能。



3Dベクトル図、株価チャートが追加。

G2 会場

23号館 23-203

ディスプレイ材料の開発最前線

3月28日午前

電子ペーパー

(9:00~9:10)

3G2-01 オーガナイザー挨拶 (東海大工) 前田秀一 (09:00~09:10)

紙と電子ペーパー

座長 小澤 伸二 (9:10~10:50)

3G2-02 招待講演 身体感覚と認知特性から見た紙メディアのポテンシャル (東大名誉/前日本印刷学会会長) 尾鍋史彦 (09:10~09:50)

3G2-06 インキュベーションタイム (09:50~10:00)

3G2-07 招待講演 電子ペーパーの動向 (東海大工) 面谷 信 (10:00~10:40)

3G2-11 インキュベーションタイム (10:40~10:50)

電子ペーパーと表示材料(1)

座長 小林 範久 (10:50~12:10)

3G2-12 依頼講演 ロイコ染料を用いたパッシブマトリックス電子ペーパー (船井電機) ○鈴木雅雄・樋口徹也・翁 武・下村 威・福岡敏美・小野雅敏・面谷 信 (10:50~11:20)

3G2-15 インキュベーションタイム (11:20~11:30)

3G2-16 依頼講演 有機/金属ハイブリッドポリマーを用いた表示デバイスの開発 (物材機構・JST-CREST) 樋口昌芳 (11:30~12:00)

3G2-19 インキュベーションタイム (12:00~12:10)

3月28日午後

電子ペーパーと表示材料(2)

座長 前田 秀一 (13:30~15:20)

3G2-28 依頼講演 発光・発色デュアルモードを有する電子ペーパー技術 (千葉大院融合) 小林範久 (13:30~14:00)

3G2-31 インキュベーションタイム (14:00~14:10)

3G2-32 依頼講演 ツイストボール型電子ペーパー (綜研化学) 滝沢容一 (14:10~14:40)

3G2-35 インキュベーションタイム (14:40~14:50)

3G2-36 口頭C講演 陽極酸化法によって製作されたアルミナ薄膜上への亜鉛薄膜の電析を利用したカラー電子ペーパー (九大最先端有機光エレクトロニクス研究センター) ○辻 敏郎・平田修造・安達千波矢 (14:50~15:10)

3G2-38 インキュベーションタイム (15:10~15:20)

電子ペーパーの用途展開

座長 面谷 信 (15:20~17:20)

3G2-39# 依頼講演 安全監視, 防災, 減災のための新しい概念 "On Site Visualization" について (神戸大院工) 芥川真一 (15:20~15:50)

3G2-42 インキュベーションタイム (15:50~16:00)

3G2-43 依頼講演 防災・災害時の電子ペーパーの利用 (建設技術研究所・神戸大院工) ○野村 貢・芥川真一 (16:00~16:30)

3G2-46 インキュベーションタイム (16:30~16:40)

3G2-47 依頼講演 電気泳動方式電子ペーパーサイネージ (凸版印刷) 檀上英利 (16:40~17:10)

3G2-50 インキュベーションタイム (17:10~17:20)

G3 会場

23号館 23-205

未来を創る環境・資源テクノロジー

3月27日午前

革新的省エネ・省資源プロセス

(9:30~9:40)

2G3-04 オーガナイザー挨拶 (東工大資源研) 辰巳 敬 (09:30~09:40)

座長 辰巳 敬 (9:40~10:20)

2G3-05 招待講演 自動車タイヤにおけるエネルギー・環境対策 - シラックカップリング剤の新製造法 - (東工大理工) 高田十志和 (09:40~10:20)

座長 高田 十志和 (10:20~11:00)

2G3-09 招待講演 炭素繊維複合材料の現状と今後の展望 (東レ複合材料研究所) 北野彰彦 (10:20~11:00)

座長 北野 彰彦 (11:00~11:40)

2G3-13 招待講演 多層膜干渉を利用した高透明高遮熱フィルム (住友スリーエム) 五十嵐麻ヤ (11:00~11:40)

座長 世古 信三 (11:40~12:10)

2G3-17 インキュベーションタイム (11:40~12:10)

3月27日午後

座長 佐藤 一彦 (13:10~14:00)

2G3-26 基調講演 新触媒の開発 - 資源・エネルギー・環境分野での貢献を目指して - (三井化学) 藤田照典 (13:10~14:00)

座長 藤田 照典 (14:00~14:40)

2G3-31 招待講演 クリーン酸化技術による超長寿命絶縁材料の開発 - 触媒の発見から産学官連携による製品化までの道のり - (産総研環境化学技術) 佐藤一彦 (14:00~14:40)

座長 増田 隆夫 (14:40~15:10)

2G3-35 依頼講演 ミクロ多孔体薄膜を用いた分離技術の革新 (早大先進理工) 松方正彦 (14:40~15:10)

座長 松方 正彦 (15:10~15:40)

2G3-38 依頼講演 酸化鉄などの固体触媒を活用した非食用各種バイオマスからの有用化学物質の生成プロセス (北大理工) ○増田隆夫・多湖輝興 (15:10~15:40)

座長 辰巳 敬 (15:40~16:10)

2G3-41 インキュベーションタイム (15:40~16:10)

座長 井上 健二 (16:10~16:40)

2G3-44 口頭D講演 マイクロ波を用いるバイオディーゼル燃料の低温連続製造法 (崇城大工) ○池永和敏・緒方康人・上田祐司・先田業幸 (16:10~16:40)

3月28日午前

多様化する炭素資源にどう対応するか

(9:10~9:20)

3G3-02 オーガナイザー挨拶 (東工大セラ研) 原 亨和 (09:10~09:20)

座長 原 亨和 (9:20~10:20)

3G3-03 基調講演 バイオリファイナリー産業の将来像 (地球環境産業技術研究機構) 湯川英明 (09:20~10:10)

3G3-08 インキュベーションタイム (10:10~10:20)

座長 湯川 英明 (10:20~11:40)

3G3-09 招待講演 未来の石油代替資源としての藻類バイオマス (筑波大院生命環境) 渡邊 信 (10:20~11:00)

3G3-13 依頼講演 砂糖の工業化学原料としての過去・現在と今後, その可能性 (精糖工業会) 齋藤祥治 (11:00~11:30)

3G3-16 インキュベーションタイム (11:30~11:40)

座長 小堀 良浩 (11:40~12:10)

3G3-17 口頭D講演 リグノセルロースの常温全量資源化 - 成分分離と機能制御の同時プロセス - (三重大院生物資源) 松岡正光○青柳充・三亀啓吾・野中 寛 (11:40~12:10)

3月28日午後

座長 小堀 良浩 (13:10~14:30)

3G3-26 招待講演 第三世代液体バイオエネルギーの現状と展望 (京大院エネルギー) 坂 志朗 (13:10~13:50)

3G3-30 依頼講演 エネルギー植物栽培からエタノール製造までの一貫生産プロセス開発 (バイオエタノール革新技術研究組合) 川端秀雄 (13:50~14:20)

3G3-33 インキュベーションタイム (14:20~14:30)

座長 坂 志朗 (14:30~15:50)

3G3-34 招待講演 九州大学における炭素資源研究への取り組み - 炭素資源国際教育研究センターの活動を中心として - (九大炭素資源国際教育研究センター) ○林 潤一郎・平島 剛・松下洋介・寺岡靖剛 (14:30~15:10)

3G3-38 依頼講演 カナダオイルサンド事業の概要 (JX 日鉱日石開

発)磯江芳朗 (15:10~15:40)

3G3-41 インキュベーションタイム (15:40~15:50)

座長 林 潤一郎 (15:50~17:10)

3G3-42 招待講演 光触媒による水を原料に用いた水素製造と二酸化炭素固定化反応 (東理大理・東理大総研光触媒) 工藤昭彦 (15:50~16:30)

3G3-46 依頼講演 二酸化炭素由来脂肪族ポリカーボネートの研究開発動向と実用化への課題 (東理大工) 杉本 裕 (16:30~17:00)

3G3-49 インキュベーションタイム (17:00~17:10)

G4 会場

23号館 23-206

未来を創る環境・資源テクノロジー

3月27日午前

資源を考慮した材料戦略

座長 堀 久男 (9:00~9:50)

2G4-01 口頭C講演 セルロースの熱可塑性および溶融紡糸による繊維化への応用 (東レ繊維研究所) ○鹿野秀和・山田博之・荒西義高・前田裕平 (09:00~09:20)

2G4-03 口頭D講演 ビタミンB₁₂の触媒システムを用いたヒ素の無毒化とレアメタルのリサイクル技術の開発 (日本板硝子研究開発部) ○中村浩一郎 (09:20~09:50)

3月27日午後

(13:00~13:10)

2G4-25 オルガナイザー挨拶 (東大生研) 岡部 徹 (13:00~13:10)

座長 岡部 徹 (13:10~14:00)

2G4-26 基調講演 NdFeB磁石の最新製法と将来展望 (インターメタルックス) 佐川真人 (13:10~14:00)

座長 多田 啓司 (14:00~15:30)

2G4-31 招待講演 レアメタルのリサイクル (産総研環境管理技術) 田中幹也 (14:00~14:40)

2G4-35 インキュベーションタイム (14:40~14:50)

2G4-36 招待講演 Nd磁石から考えるエネルギー・材料戦略 (信越化学工業 磁性材料研) 美濃輪武久 (14:50~15:30)

座長 堀 久男 (15:30~16:50)

2G4-40 招待講演 希土類ハロゲン化物を利用した材料プロセス (京大院工) 宇田哲也 (15:30~16:10)

2G4-44 招待講演 溶融弗化物を用いた希土類磁石合金の乾式リサイクル (東北大工) ○竹田 修・中野清貴・佐藤 讓 (16:10~16:50)

(16:50~17:50)

2G4-48 パネルディスカッション 「資源を考慮した材料戦略」パネリスト: 佐川真人・田中幹也・美濃輪武久・宇田哲也・竹田 修、コーディネータ: 岡部 徹 (16:50~17:50)

未来志向の挑戦型バイオケミカルズ

3月28日午前

座長 深瀬 浩一 (11:40~12:20)

3G4-17 口頭C講演 グリーンバイオ・化学-酵素複合法の新展開-高機能けい光分析試薬実用化にむけて (慶大薬) ○東 利則・庄司満・須貝 威 (11:40~12:00)

3G4-19 口頭C講演 酵母由来の機能性脂質「マンノシルエリスリトールリピッド」の用途展開 (産総研環境化学技術) ○福岡徳馬・森田友岳・井村知弘・北本 大 (12:00~12:20)

3月28日午後

座長 須貝 威 (13:30~14:30)

3G4-28 口頭C講演 内外表面が異なる有機ナノチューブの開発: 生体材料や薬剤のためのナノカプセル (産総研ナノチューブ応用研セ) ○増田光俊・丁 武孝・亀田直弘・南川博之・清水敏美 (13:30~13:50)

3G4-30 口頭C講演 自然免疫活性化物質と発酵食品 (阪大院理・鹿児島大院理工・福山物産・味香戦略研究所) ○藤本ゆかり・橋本雅仁・PRADIPTA, Ambara Rachmat・菅 慎太郎・重久 浩・深瀬浩一 (13:50~14:10)

3G4-32 口頭C講演 高効率・高選択的にPCR増幅可能な人工塩基対システムの構築 (理研生命分子システム・タグシクスバイオ・東大院理) ○木本路子・山重りえ・佐藤 旭・三井雅雄・横山茂之・平尾一

郎 (14:10~14:30)

座長 鴻池 敏郎 (14:30~15:30)

3G4-34 基調講演 ペプチド化学を基盤とした統合創薬科学 (京薬大) 木曾良明 (14:30~15:20)

3G4-39 インキュベーションタイム (15:20~15:30)

座長 大橋 武久 (15:30~16:10)

3G4-40 依頼講演 ダイソ어의バイオケミカルズ開発 (ダイソーR&D本部研究センター) 雑賀哲行 (15:30~16:00)

3G4-43 インキュベーションタイム (16:00~16:10)

座長 須貝 威 (16:10~16:50)

3G4-44 依頼講演 免疫制御を指向したケミカルグリコバイオロジー (阪大院理) 深瀬浩一 (16:10~16:40)

3G4-47 インキュベーションタイム (16:40~16:50)

(16:50~17:50)

3G4-48 パネルディスカッション 「未来志向の挑戦的バイオケミカルズ」パネリスト: 木曾良明・田口隆久・雑賀哲行、コーディネータ: 須貝 威・上嶋康秀 (16:50~17:50)

3月29日午前

座長 須貝 威 (9:30~10:10)

4G4-04 依頼講演 進化理論を元に新しい技術と産業を切り開く ~ネオ・モルガン研究所の技術と実績~ (ネオ・モルガン研究所) 藤田朋宏 (09:30~10:00)

4G4-07 インキュベーションタイム (10:00~10:10)

座長 秋吉 一成 (10:10~11:10)

4G4-08 基調講演 バイオ計測が拓く未来の医療 (ソニー先端マテ研) 安田章夫 (10:10~11:00)

4G4-13 インキュベーションタイム (11:00~11:10)

座長 富ヶ原 祥隆 (11:10~12:00)

4G4-14 招待講演 微細藻類ユグレナによる有用物質生産について (ユグレナ) 鈴木健吾 (11:10~11:50)

4G4-18 インキュベーションタイム (11:50~12:00)

3月29日午後

座長 渡邊 英一 (13:00~13:50)

4G4-25 招待講演 酒醸造技術をバイオ燃料製造に活かす (月桂冠総合研究所) 秦 洋二 (13:00~13:40)

4G4-29 インキュベーションタイム (13:40~13:50)

座長 富ヶ原 祥隆 (13:50~14:40)

4G4-30 招待講演 セルロソーム生産嫌気菌*Clostridium cellulovorans*のゲノム解析とバイオマス完全利用への応用 (三重大院生物資源) 田丸浩 (13:50~14:30)

4G4-34 インキュベーションタイム (14:30~14:40)

座長 大橋 武久 (14:40~15:40)

4G4-35 基調講演 自然に学ぶものづくりー高炭素技術が世界を救う?! (産総研関西センター) 田口隆久 (14:40~15:30)

4G4-40 インキュベーションタイム (15:30~15:40)

座長 渡邊 英一 (15:40~16:30)

4G4-41 招待講演 糸状菌の界面活性タンパク質による生分解性プラスチックの新規分解促進機構とその応用 (東北大院農・東北大NICHe・酒類総合研究所) ○阿部敬悦・高橋 徹 (15:40~16:20)

4G4-45 インキュベーションタイム (16:20~16:30)

座長 鴻池 敏郎 (16:30~17:10)

4G4-46 依頼講演 セルロース系バイオマス糖化技術開発の現状 (三菱重工) ○西山理郎・近藤 岳・上原良介・鈴木英夫・寺倉誠一 (16:30~17:00)

4G4-49 インキュベーションタイム (17:00~17:10)

H1 会場

23号館 23-301

低炭素社会を実現する新エネルギー技術

3月28日午前

次世代太陽光発電技術

(9:30~9:40)

3H1-04 オーガナイザー挨拶 (東大先端研) 瀬川浩司 (09:30~09:40)

座長 中崎 城太郎 (9:40~10:50)

3H1-05 依頼講演 高効率光利用のための色素材料設計 (信州大繊維) 木村 睦 (09:40~10:10)

3H1-08 口頭C講演 フタロシアニン及びナフタロシアニン色素を用いたハイブリット形色素増感太陽電池の研究 (九工大院生命体工) ○バク ビョンウク・井上隆文・尾込裕平・バンディー シャムステイル・宮本明理・藤田晋介・早瀬修二 (10:10~10:30)

3H1-10# 口頭C講演 色素増感太陽電池の色素構造による吸着及び拡散挙動の研究 (九工大院生命体工) ○PANDEY, Shyam S.・HAYAT, Azwar・李 根泳・佐藤宏美・尾込裕平・早瀬修二 (10:30~10:50)

座長 木村 睦 (10:50~12:10)

3H1-12 依頼講演 色素増感太陽電池の高効率化に向けた近赤外吸収色素の開発 (東大先端研) 瀬川浩司 (10:50~11:20)

3H1-15 依頼講演 レーザー分光でみる色素増感太陽電池の動作機構 (産総研) 加藤隆二 (11:20~11:50)

3H1-18 口頭C講演 色素増感太陽電池のインピーダンス測定に関わる諸問題 (同志社大理工) ○足立基齊・谷野 涼・森 康維・内田文生 (11:50~12:10)

3月28日午後

座長 内田 聡 (13:30~14:20)

3H1-28 依頼講演 鎖状スルホンを用いた色素増感太陽電池用電解液の開発 (日本カーリット) ○梁田風人・千葉一美・山口容史 (13:30~14:00)

3H1-31 口頭C講演 スルフィド系有機レドックス電解液を用いた色素増感太陽電池の発電特性評価 (第一工業製薬) ○齊藤恭輝・加藤和幸 (14:00~14:20)

座長 宮坂 力 (14:20~15:50)

3H1-33 依頼講演 シアノボレートイオン液体を用いた色素増感太陽電池電解液の開発 (メルク) ○川田健太郎・吉崎浩樹・後藤智久・澤田 温・篠原浩美 (14:20~14:50)

3H1-36 依頼講演 レドックスポリマーが広がる 有機太陽電池の可能性 (早大理工) 西出宏之 (14:50~15:20)

3H1-39 依頼講演 ナノクレイ電解液を用いた高効率色素増感太陽電池 (東大先端研) ○内田 聡・久保貴哉・瀬川浩司 (15:20~15:50)

座長 足立 基齊 (16:00~17:00)

3H1-43 口頭D講演 スプレー熱分解薄膜形成法とそれを利用した色素太陽電池製造プロセス (SPD 研究所) ○金子正治・KUMARA, G. R. A.・VIRAJ, J. P.・川崎俊治 (16:00~16:30)

3H1-46 依頼講演 有機EL、有機太陽電池を用いたワイヤレス給電システムの開発 (ローム・OKI セミコンダクタ・NTT ドコモ) ○渡辺実・木村俊博・竹野和彦 (16:30~17:00)

3月29日午前

次世代太陽光発電技術

座長 但馬 敬介 (9:00~10:00)

4H1-01 依頼講演 色素増感太陽電池における電子移動プロセス (信州大繊維) 森 正悟 (09:00~09:30)

4H1-04 依頼講演 半導体量子ドットの光励起キャリアダイナミクスと光電変換特性 (電通大先進理工・JST さきがけ) 豊田太郎・沈 青 (09:30~10:00)

座長 森 正悟 (10:00~11:00)

4H1-07 依頼講演 酸化チタンとジシアノメチレン化合物の界面錯体

を用いた有機系太陽電池 (東大先端研) ○藤沢潤一・永田衛男・中崎城太郎・内田 聡・久保貴哉・瀬川浩司 (10:00~10:30)

4H1-10 依頼講演 ポリマー薄膜太陽電池の界面構造制御 (東大院工・JST-ERATO) ○但馬敬介・多田亜喜良・歌 彦芳・衛 慶碩・橋本和仁 (10:30~11:00)

座長 小柳津 研一 (11:00~11:40)

4H1-13 招待講演 塗布型有機小分子薄膜太陽電池の開発 (東大院理) 中村栄一 (11:00~11:40)

3月29日午後

座長 瀬川 浩司 (12:30~13:50)

4H1-22 基調講演 21世紀の太陽光発電—希望と責務 (東工大ソリューション研究機構) 黒川浩助 (12:30~13:20)

4H1-27 依頼講演 JX 日鉱日石エネルギーにおける太陽光発電技術開発 (JX 日鉱日石エネルギー) ○朝野 剛・劉 承訓・池田 哲・中山慶祐・後藤正直・中村 勉 (13:20~13:50)

座長 早瀬 修二 (13:50~14:40)

4H1-30 基調講演 太陽光発電技術の現状と今後の展望 (豊田工大) 山口真史 (13:50~14:40)

座長 久保 貴哉 (14:40~15:50)

4H1-35 依頼講演 有機・無機増感剤を用いるプリンタブル太陽電池の展望 (桐蔭横浜大院工) 宮坂 力 (14:40~15:10)

4H1-38 招待講演 色素増感太陽電池の高効率化に向けて (九工大生命体工) 早瀬修二 (15:10~15:50)

(16:10~17:10)

4H1-44 パネルディスカッション 「有機系太陽電池の現状と課題」パネリスト: 黒川浩助・山口真史・早瀬修二・宮坂 力、コーディネーター: 瀬川浩司 (16:10~17:10)

H2 会場

23号館 23-304

未来材料

3月28日午前

バイオメテック材料の新展開

座長 下村 政嗣 (9:00~10:30)

3H2-01 基調講演 バイオロジーとナノテクノロジーのマリアージュ: バイオメテックスから生物規範工学へ (東北大 WPI-AIMR・東北大多元研) 下村政嗣 (09:00~09:50)

3H2-06 招待講演 生物規範光学材料 (浜松医科大) 針山孝彦 (09:50~10:30)

座長 針山 孝彦 (10:30~12:00)

3H2-10 依頼講演 自己組織化によるモスアイ構造の作製 (三菱レイヨン) 魚津吉弘 (10:30~11:00)

3H2-13 依頼講演 海洋生物に学ぶ防汚材料設計 (北大院先端生命) 室崎喬之○龔 劍萍 (11:00~11:30)

3H2-16 依頼講演 生物を規範とする接合材料 (物材機構) 細田奈麻



電気化学膨張計 ECD-1 Electrochemical Dilatometer

ECD-1は、サブミクロンメートルの範囲まで、電極のチャージで引き起こされた変形 (膨張と収縮) を測定する研究用の測定器です。

<ECD-1の主な特徴>

- ・50nm分解能を備えたフルレンジ500μmのLVDTセンサー有り。
- ・少量のセル容量 (約3mlの電解質質量)
- ・広い温度範囲 (-20°C~+80°C)
- ・etc...是非お問い合わせ下さいませ。

☆リチウムイオン・バッテリーや他の挿入タイプ電極の研究のために特別にドイツで開発されました!
水系の電解質溶液と同様に有機電解質溶液でも使用できます。



湿式比表面積測定装置 (Acorn area)

粒子比表面積測定への新しいアプローチ! 新製品です!
デモ測定受付始めました。

お問い合わせ



株式会社 **三ツワフロンテック**

東京支社 TEL 03-5823-0351
Email: info@mitsuwa.co.jp

絵 (11:30~12:00)

3月28日午後

- 座長 細田 奈麻絵 (13:00~14:40)
- 3H2-25 依頼講演** メカノタクシス：生物規範細胞操作材料の設計 (九大先導研) ○木戸秋 悟・河野喬仁・坂下寛幸 (13:00~13:30)
- 3H2-28 招待講演** 生物規範感覚システム：昆虫の化学センシングを規範にして (神戸大院理) 尾崎まみこ (13:30~14:10)
- 3H2-32 依頼講演** ネムリユスリカに学ぶ極限環境システム (農業生物資源研究所) 奥田 隆 (14:10~14:40)

- 座長 木戸秋 悟 (14:40~16:10)
- 3H2-35 依頼講演** 生物規範飛行システム (千葉大院工) 劉 浩 (14:40~15:10)
- 3H2-38 依頼講演** 生物規範トライボロジーと自動車部品 (トヨタ自動車・東北大) ○鈴木 厚・海道昌孝・下村政嗣・藪 浩・平井悠司 (15:10~15:40)
- 3H2-41 依頼講演** ナノインプリントによるバイオミメティクスデバイス開発への貢献の可能性 (日立材料研) 宮内昭浩 (15:40~16:10)

- 座長 龔 劍萍 (16:10~17:40)
- 3H2-44 依頼講演** 生物規範はっ水表面の創製 (産総研サステナブルマテリアル) 穂積 篤 (16:10~16:40)
- 3H2-47 依頼講演** 生物規範親水材料 (INAX 総合技術研究所) 井須紀文 (16:40~17:10)
- 3H2-50 依頼講演** オパールフォトリソニック結晶によるチューナブル構造色材料の創成 (物材機構) 不動寺 浩 (17:10~17:40)

- 座長 細田 奈麻絵 (17:40~18:20)
- 3H2-53 口頭C講演** 新規な色素配列材料としてのボルフィリン-シクロキストリン包接結晶 (九州先端科学技術研究所) ○土屋陽一・山野昭人・白木智丈・佐田和己・新海征治 (17:40~18:00)
- 3H2-55 口頭C講演** 超撥水性発現を指向したマイクロナノ微細構造膜のワンステップコーティング (川村理研) ○加藤慎治・佐藤彩矢 (18:00~18:20)

3月29日午前

バイオミメティック材料の新展開

- 座長 穂積 篤 (9:00~10:40)
- 4H2-01 招待講演** バイオミメティクスと植物保護 (京大院農・森林総研・東大先端研) ○森 直樹・奥本 裕・三瀬和之・高梨琢磨・光野秀文・神崎亮平 (09:00~09:40)
- 4H2-05 依頼講演** バイオミメティック・データベースとしての昆虫インベントリー (国立科学博物館) 野村周平 (09:40~10:10)
- 4H2-08 依頼講演** バイオミメティック・データベースとしての魚類インベントリー (国立科学博物館) 篠原現人 (10:10~10:40)

- 座長 森 直樹 (10:40~12:00)
- 4H2-11 依頼講演** バイオミメティック・データベースとオントロジー (阪大産研) 古崎晃司 (10:40~11:10)
- 4H2-14 基調講演** 自然のすごさを賢く活かすものづくり (東北大院環境) 石田秀輝 (11:10~12:00)

3月29日午後

- 座長 大園 拓哉 (13:00~14:40)
- 4H2-25 招待講演** 自然に学ぶものづくりと企業活動 (積水インテグ

レーテッドリサーチ) 佐野健三 (13:00~13:40)

- 4H2-29 依頼講演** 生物規範技術の包括的ガバナンス (産総研ナノシステム) ○阿多誠文・関谷瑞木 (13:40~14:10)
- 4H2-32 依頼講演** バイオ TRIZ と生物規範創発工学 (新潟大工) 山内健 (14:10~14:40)

- 座長 小林 元康 (14:40~16:10)
- 4H2-35 依頼講演** 自己組織化プロセスの発生遺伝学的検討 (北教大札幌) 木村賢一 (14:40~15:10)
- 4H2-38 依頼講演** 数理学とバイオミメティクス (東北大院情報) 久保英夫 (15:10~15:40)
- 4H2-41 依頼講演** 自己組織化マイクロリソグラフィと応用 (産総研ナノシステム) 大園拓哉 (15:40~16:10)

- 座長 下村 政嗣 (16:10~17:00)
- 4H2-44 依頼講演** 生体の水潤滑を規範としたポリマーブラシの設計と摩擦特性 (JST ERATO・九大先導研) 小林元康・高原 淳 (16:10~16:40)
- 4H2-47 口頭C講演** 柔軟性と透明性を持つ配向ラポナイト-PEG 複合フィルム (東農工大院工・理研基幹研) ○愛澤和人・敷中一洋・藤井 望・長田義仁・重原淳孝 (16:40~17:00)

H3 会場

23号館 23-305

未来材料

3月28日午前

次世代フォトニクス材料

- (10:30~10:40)
- 3H3-10 開会の辞** (旭化成) 青木謙介 (10:30~10:40)
- 座長 田中 爾文 (10:40~11:30)
- 3H3-11 基調講演** Face-to-Face コミュニケーションのためのフォトニクスポリマー (慶大理工) 小池康博 (10:40~11:30)

- 座長 小池 康博 (11:30~12:10)
- 3H3-16 招待講演** 次世代光インターコネクタデバイス用フォトニクスポリマー (東北大多元研) ○杉原興浩・戒能俊邦 (11:30~12:10)

3月28日午後

- 座長 小池 康博 (13:30~14:50)
- 3H3-28 依頼講演** 全フッ素 GI 型プラスチック光ファイバの開発と応用展開 (旭硝子) 田中爾文 (13:30~14:00)
- 3H3-31 依頼講演** 部分塩素化ポリマーを用いた GI 型光ファイバの開発 (積水化学工業) 中尾亮介 (14:00~14:30)
- 3H3-34 口頭C講演** ポリエステル型光駆動アクチュエータの開発 (富士フィルム) ○保田貴康・西川尚之・岡崎正樹 (14:30~14:50)

- 座長 杉原 興浩 (15:10~16:30)
- 3H3-38 招待講演** 光学用高分子液晶フィルム (JX 日鉱日石エネルギー) 豊岡武裕 (15:10~15:50)
- 3H3-42 招待講演** LCD 用光学補償フィルムの材料設計と最新動向

フロー式水素化反応装置

株式会社 ワイエムシイ

www.keyboardchemistry.com



KeyChem[®]-H 【キーケム エイチ】

ボタンひとつで水素化反応が可能!!

- ・触媒の濾別不要 (専用の触媒カラムを使用)
- ・簡単操作による水素化を実現
- ・安全で新しい水素供給方式を採用

¥3,800,000~

水素源に圧力容器に該当しない
水素吸蔵合金キャニスターを使用

企業展示ブースにて
実機展示中!!
是非ご覧下さい。

キーボードケミストリー 検索

株式会社 ワイエムシイ 国内営業部 〒600-8106 京都市下京区五条通烏丸西入醍醐町284 YMC烏丸五条ビル 4F
TEL.(075)342-4522 FAX.(075)342-4550 mail nb@ymc.co.jp



(カネカテクノロジーリサーチ) ○藤井貞男・川端裕輔 (15:50~16:30)

座長 多加谷 明広 (16:30~17:40)

- 3H3-46 招待講演** ROMP触媒によるフォトレジスト材料の開発 (三井化学新材料開発センター) 須永忠弘 (16:30~17:10)
- 3H3-50 依頼講演** コレステリック液晶を用いたフォトニック結晶の省エネルギー液晶ディスプレイ(e²-LCD)への応用 (メルク アドバンス テクノロジーズ R&D) ○鈴木成嘉・藤原尚哉 (17:10~17:40)

H4 会場

23号館 23-306

未来材料

3月28日午後

超分子素子を目指したプログラミング

(9:20~9:30)

- 3H4-03 趣旨説明** (東工大資源研) 山元公寿 (09:20~09:30)

座長 山元 公寿 (9:30~10:20)

- 3H4-04 基調講演** 配位プログラミングによる化学素子へのアプローチ (東大院理) 西原 寛 (09:30~10:20)

座長 有賀 克彦 (10:20~11:30)

- 3H4-09 招待講演** 超分子ヒドロゲルのバイオ素子への展開 (京大院工・CREST/JST) 浜地 格 (10:20~11:00)
- 3H4-13 依頼講演** ヘムタンパク質階層プログラミング:革新的バイオデバイスへの挑戦 (阪大院工) ○小野田 晃・林 高史 (11:00~11:30)

座長 小野田 晃 (11:30~12:10)

- 3H4-16 招待講演** 分子からマクロへ・マクロから分子へ:超分子階層構造と Hand-Operation Nanotechnology (物材機構・WPI-MANA) 有賀克彦 (11:30~12:10)

3月28日午後

座長 樋口 昌芳 (14:00~15:10)

- 3H4-31 招待講演** ブロックコポリマーテンプレート工学:ナノ構造とナノ機能のプログラミング (東工大資源研) 彌田智一 (14:00~14:40)
- 3H4-35 依頼講演** 電子・光・磁気機能を発現する超分子集合体の構築 (筑波大院数理物質) 山本洋平 (14:40~15:10)

座長 山本 洋平 (15:10~16:20)

- 3H4-38 招待講演** 応用を指向した有機/金属ハイブリッドポリマーの配位プログラミング (物材機構・JST-CREST) 樋口昌芳 (15:10~15:50)
- 3H4-42 依頼講演** 分子デバイスを創る電極からのプログラム・分子からのプログラム (阪大産研・JST さきがけ) 谷口正輝 (15:50~16:20)

座長 谷口 正輝 (16:20~17:30)

- 3H4-45 招待講演** 単電子エレクトロニクスへのナノ粒子科学からのアプローチ (筑波大院数理物質・JST-CREST) 寺西利治 (16:20~17:00)
- 3H4-49 依頼講演** 導電性高分子の自己組織化ナノワイヤー・ナノファイバー1本レベルの電気物性 (東農工大 BASE) 下村武史 (17:00~17:30)

H5 会場

23号館 23-307

微細パターン化技術の多様化-相克と共棲-

3月28日午前

自己組織化による微細パターン形成

(9:50~10:00)

- 3H5-06** オーガナイザー挨拶 (名大院工) 関 隆広 (09:50~10:00)

座長 関 隆広 (10:00~12:00)

- 3H5-07 基調講演** Dewetting 現象を利用したパターン化とフォトリソへの展開 (千歳科技大) ○オラフ カートハウス・清野裕司 (10:00~10:50)

- 3H5-12 招待講演** 超微細インクジェットの開発と応用 (産総研ナノシステム) 村田和広 (10:50~11:30)

- 3H5-16 依頼講演** 無機薄膜の表面パターン化と配向化 (東大院工) ○西村達也・坂本 健・加藤隆史 (11:30~12:00)

3月28日午後

座長 早川 晃鏡 (13:00~14:40)

- 3H5-25 招待講演** 金属ナノ粒子・微粒子の合成と配列 (北大院工) 米澤 徹 (13:00~13:40)
- 3H5-29 依頼講演** 光物質移動によるレリーフ形成の新展開 (横国大院工) 生方 俊 (13:40~14:10)
- 3H5-32 依頼講演** 階層構造をもつ粒子作成とメタマテリアルへの展開 (東北大多元研・JST さきがけ) 藪 浩 (14:10~14:40)

座長 米澤 徹 (14:50~16:00)

- 3H5-36 招待講演** シルセスキオキサンを導入したブロック共重合体の開発と精密パターン化 (東工大院理工) 早川晃鏡 (14:50~15:30)
- 3H5-40 依頼講演** 有機無機ハイブリッド材料の配向操作とレリーフ形成 (名大院工) 関 隆広 (15:30~16:00)

3月29日午前

次世代リソグラフィ

(9:00~9:10)

- 4H5-01** オーガナイザー挨拶 (阪大産研) 古澤孝弘 (09:00~09:10)

座長 古澤 孝弘 (9:10~10:40)

- 4H5-02 基調講演** 高分子レジストから分子レジストへ:-Noria 誘導体を含む最近の EUV レジスト材料の発展- (神奈川大工) 西久保忠臣 (09:10~10:00)
- 4H5-07 招待講演** EUV リソグラフィの実用化に向けて(EUV 露光装置の最新開発状況) (エーエスエムエル・ジャパン) 宮崎順二 (10:00~10:40)

座長 工藤 宏人 (10:40~12:10)

- 4H5-11 依頼講演** 「MNC2010 グリーンリソグラフィシンポジウム」から見る低コスト、高効率リソグラフィの方向性 (ルネサスエレクトロニクス) 永原誠司 (10:40~11:10)
- 4H5-14 依頼講演** 次世代リソグラフィ用材料の開発状況 (東京応化工業 開発本部 次世代材料開発部) 佐藤和史 (11:10~11:40)
- 4H5-17 依頼講演** EUV リソグラフィ用レジスト下層膜の開発 (日産化学工業 電子材料研究所) ○坂本力丸・何 邦慶・藤谷徳昌・遠藤貴文・大西竜慈 (11:40~12:10)

3月29日午後

座長 永原 誠司 (14:40~15:50)

- 4H5-35 招待講演** EUV レジスト材料とプロセス開発 (半導体先端テクノロジーズ) 井谷俊郎 (14:40~15:20)
- 4H5-39 依頼講演** EUV リソグラフィ用材料の開発 -現状と今後- (JSR 精密電子研究所) 志水 誠 (15:20~15:50)

座長 太田 克 (15:50~17:00)

- 4H5-42 招待講演** EUV リソグラフィ研究開発センターにおけるリソグラフィ開発 (兵庫県高度産業科学技術研) ○渡邊健夫・原田哲男・木下博雄 (15:50~16:30)
- 4H5-46 依頼講演** ポリマー-PAG 型 EUV レジスト材料の開発 (富士フイルム) 樽谷晋司 (16:30~17:00)

H6 会場

23号館 23-309

微細パターン化技術の多様化-相克と共棲-

3月28日午前

ナノインプリント

(9:50~10:00)

- 3H6-06** オーガナイザー挨拶 (兵庫県高度産業科学技術研) 松井真二 (09:50~10:00)

座長 廣島 洋 (10:00~12:00)

- 3H6-07 基調講演** ナノインプリントの最新動向 (兵庫県高度研・JST-CREST) 松井真二 (10:00~10:50)
- 3H6-12 招待講演** フィルムモールドを用いた高輝度 LED 用ナノインプリントプロセス装置 (東芝機械) 後藤博史 (10:50~11:30)
- 3H6-16 依頼講演** ロールナノインプリントによるモスアイ型反射防止膜の製造 (三菱レイヨン) 魚津吉弘 (11:30~12:00)

3月28日午後

座長 中川 勝 (13:00~15:00)

- 3H6-25 招待講演** ナノインプリントモールド (HOYA R&Dセンター) 流川 治 (13:00~13:40)
3H6-29 招待講演 光ナノインプリント (産総研マイクロシステム研究センター・JST-CREST) 廣島 洋 (13:40~14:20)
3H6-33 招待講演 ナノインプリントの物理化学とシミュレーション (阪府大院工) 平井義彦 (14:20~15:00)

座長 平井 義彦 (15:10~16:20)

- 3H6-38 招待講演** 光ナノインプリントにおける界面機能分子制御 (東北大多元研) 中川 勝 (15:10~15:50)
3H6-42 依頼講演 ナノインプリント材料 (ダイセル化学工業) ○湯川隆生・竹内秀一・伊吉就三・三宅弘人 (15:50~16:20)

3月29日午後

(13:00~14:30)

- 4H6-25 パネルディスカッション** 「微細パターン化技術の多様化-相克と共棲」パネリスト: 永原誠司・古澤孝弘・松井真二・平井義彦・オラフ カートハウス・関 隆広、パネルディスカッションオーガナイザー: 大西廉伸 (13:00~14:30)

H8 会場 23号館 23-311

低炭素社会を実現する新エネルギー技術

3月27日午後

次世代蓄電技術

(13:00~13:10)

- 2H8-25** オーガナイザー挨拶 (京大院工) 安部武志 (13:00~13:10)

座長 安部 武志 (13:10~14:40)

- 2H8-26 基調講演** リチウムイオン二次電池産業の現状とLIBTECの活動 (技術研究組合リチウムイオン電池材料評価研究センター) 吉野彰 (13:10~14:00)
2H8-31 招待講演 日産リーフの開発 (日産自動車) 宮本丈司 (14:00~14:40)

座長 藤波 達雄 (14:40~15:40)

- 2H8-35 依頼講演** リチウム電池電極反応 -モデル系による反応解析- (東工大院総理工・原子力機構) ○菅野了次・平山雅章・田村和久 (14:40~15:10)
2H8-38 依頼講演 リチウム二次電池用負極カーボン単粒子の電気化学特性 (横国大院工) 獨古 薫 (15:10~15:40)

座長 菅野 了次 (15:40~16:30)

- 2H8-41[†] 口頭C講演** 酸化ナノ粒子の液相マイクロ波合成とリチウム電池特性 (産総研) ○吉永昌史・木嶋倫人・若原園子・秋本順二 (15:40~16:00)
2H8-43 口頭D講演 三次元全固体リチウム二次電池の作製 (首都大) ○金村聖志・寿 雅史・大曾根 遼・棟方裕一 (16:00~16:30)

座長 獨古 薫 (16:30~17:30)

- 2H8-46 依頼講演** ホウ素化合物を用いる高電圧蓄電池用電解液 (静岡大工) 藤波達雄 (16:30~17:00)
2H8-49 依頼講演 リチウム系電池の長期運用性に係る評価-小惑星探査機「はやぶさ」運用からの知見について- (宇宙航空研究開発機構) 曾根理嗣 (17:00~17:30)

3月28日午前

燃料電池・水素エネルギー技術

(9:30~9:40)

- 3H8-04** オーガナイザー挨拶 (同志社大理工) 稲葉 稔 (09:30~09:40)

座長 稲葉 稔 (9:40~10:40)

- 3H8-05 基調講演** 新たな材料が切り開く燃料電池 -脱白金電極を目指して- (横国大院工) 太田健一郎 (09:40~10:30)
3H8-10 インキュベーションタイム (10:30~10:40)

座長 今井 英人 (10:40~12:00)

- 3H8-11 依頼講演** 燃料電池自動車と電極触媒の開発 (トヨタ自動車) ○河村哲雄・兒玉智己・水谷宣明 (10:40~11:10)

- 3H8-14** インキュベーションタイム (11:10~11:20)

- 3H8-15 依頼講演** カーボン担体の化学修飾によるPEFC用高耐久性電極触媒の開発 (大分大工) 衣本太郎 (11:20~11:50)

- 3H8-18** インキュベーションタイム (11:50~12:00)

3月28日午後

座長 秋葉 悦男 (13:00~15:10)

- 3H8-25 基調講演** 材料・エネルギー技術革新をもたらす炭素-カーボンアロイ触媒- (北陸先端大・東工大・原子力機構・東大) ○寺倉清之・HUANG, Shen-Feng・HOU, Zhufeng・WANG, Xianlong・難波江裕太・黒木重樹・柿本雅明・宮田清藏・池田隆司・原田慈久・尾嶋正治・齊木幸一朗 (13:00~13:50)

- 3H8-30** インキュベーションタイム (13:50~14:00)

- 3H8-31 招待講演** 放射光を用いた燃料電池触媒のin situリアルタイム構造解析 (NECグリーン研) 今井英人 (14:00~14:40)

- 3H8-35** インキュベーションタイム (14:40~14:50)

- 3H8-36 口頭C講演** 負極および正極材料として炭素繊維電極を用いた燃料電池の構築 (創価大院工) ○前田英勝・岩村謙一・長本英俊 (14:50~15:10)

座長 衣本 太郎 (15:20~17:10)

- 3H8-39 依頼講演** 自動車用燃料電池電極触媒の評価解析 (日産自動車総研) 菅原生豊 (15:20~15:50)

- 3H8-42** インキュベーションタイム (15:50~16:00)

- 3H8-43 招待講演** 水素の輸送貯蔵技術とその展望 (九大院工) 秋葉悦男 (16:00~16:40)

- 3H8-47** インキュベーションタイム (16:40~16:50)

- 3H8-48 口頭C講演** X線CT法によるCFRP製水素貯蔵容器の内部構造の解明 (JX 日鉱日石エネルギー中央試験分析セ) ○佐藤瑠栄・石井光男・小西友弘・宮城 伸 (16:50~17:10)

P 会場

13号館 13-101

ATP ポスター

3月27日午前

(12:30~14:00)

微細パターン化技術の多様化-相克と共棲-

- 2PB-001** 多官能架橋型ポリマーを利用した有機 Low-k 材料の開発 (住友ベークライト基礎研) ○小松聡子・中谷浩司・平井美帆子・多田昌弘

未来材料

- 2PB-002** 電解質ゲル化剤の開発と展開 (産総研ナノシステム) ○吉田勝・長沢順一
2PB-003 両親媒性オリゴ乳酸-神経再生性ペプチド複合体によるポリ乳酸ナノファイバーの機能化と神経誘導管への応用 (国立循環器病研究センター研究所) ○柿木佐知朗・山岡哲二
2PB-004 有機ナノチューブの大量製造と機能化 (産総研ナノチューブ応用研セ) ○小木曾真樹・青柳 将・浅川真澄・清水敏美

未来を創る環境・資源テクノロジー

- 2PB-005** 酵素反応のためのメソポーラス材料固定反応器 (産総研) ○片岡 祥・竹内康隆・遠藤 明
2PB-006 新規材料探索の時間短縮・資源削減を実現させるための統合型分子設計支援システム MolWorks (ビヨンド・コンピューティング) ○田島澄恵・長嶋雲兵・千田範夫・秋山 泰・西 克也
2PB-007 粉流体試薬を利用した超安価な目視法 NO₂ 大気汚染測定器をはじめとする種々の大気汚染簡易測定器 (自宅) ○天谷和夫
2PB-008 磁性ナノ粒子固定型酸化オスミウム触媒を用いたオレフィンのジヒドロキシ化反応 (産総研・明大理工) 藤田賢一○井上賢亮・土本晃久・安田弘之
2PB-009 マイクロ波を用いるバイオディーゼルの低温連続製造法 (崇城大工) ○池永和敏・緒方康人・上田祐司・先田業幸
2PB-010 産官学連携を基盤とする新規水処理技術の開発(1)-高機能・高安定な次亜塩素酸水の調製とその応用- (首都大産技高専品川) ○田村健治
2PB-011 産官学連携を基盤とする新規水処理技術の開発(2)-ナノバブル水の調製とその応用- (首都大産技高専品川) 清水一幸・朝川敏明・萩原忠彦・鈴木善乃里○田村健治
2PB-012 イオン半導体および関連技術を基盤とする環境調和型製品の開発と応用 (イオン化学・首都大産技高専品川) 菊野 仁○田村健治
2PB-013 ビタミン B₁₂ の触媒システムを用いたヒ素の無毒化とレアメ

タルのリサイクル技術の開発（日本板硝子研究開発部）○中村浩一郎
2PB-014 環境適合型自動炭化装置由来の炭化物の屋上緑化プラントへの応用（首都大産技高専品川）○田村健治
2PB-015 リグノセルロースの常温全量資源化一成分分離と機能制御の同時プロセス（三重大院生物資源）船岡正光○青柳 充・三亀啓吾・野中 寛

低炭素社会を実現する新エネルギー技術

2PB-016[†] 酸化ナノ粒子の液相マイクロ波合成とリチウム電池特性（産総研）○吉永昌史・木嶋倫人・若原園子・秋本順二
2PB-017[†] トンネル構造をもつリチウム電池電極材料の合成と電池特性（産総研）○坂尾光正・木嶋倫人・奥谷 猛・秋本順二
2PB-018 放射線グラフト重合を利用したアニオン交換型電解質膜の開発（原子力機構）○浅野雅春・越川 博・八巻徹也・前川康成・山口進・山本和矢・朝澤浩一郎・山田浩次・田中裕久

未来志向の挑戦型バイオケミカルズ

2PB-019 低コストな活性酸素の蛍光定量法（静岡大工）○平川和貴
2PB-020 バイオプラスチック生産菌 *Ralstonia eutropha* 遺伝子組換え株による植物油からの共重合ポリヒドロキシアルカン酸合成（東工大院生命理工）○福居俊昭・御船 淳・折田和泉・中村 聡
2PB-021 異分野融合技術によるキチン系バイオマスの有効活用（一関高専）○長田光正・三浦千佳・中川裕子・貝原巳樹雄・二階堂 満・戸谷一英
2PB-022 酵母由来の機能性脂質「マンノシルエリスリトールリピッド」の用途展開（産総研環境化学技術）○福岡徳馬・森田友岳・井村知弘・北本 大
2PB-023 高機能性蛍光磁性ビーズを利用する生体分子の高速・高精度検出システムの開発（東工大院生命理工・東工大ソリューション研究機構）○坂本 聡・河田慎太郎・内藤靖之・望月勇輔・岸 寛・畠山士・半田 宏
2PB-024 ONIOM 法によるローヤルゼリーの薬理作用に関する理論研究（神奈川大理）○小竹 充・松原世明
2PB-025 主要組織適合遺伝子複合体(MHC)分子の構造相同性データマイニング解析（産総研）○和泉 博
2PB-026 アミノ基接着プローブの開発による高効率バイオコンジュゲーション法（阪大院理・キシダ化学・ハイベップ研究所）田中克典○中山郁理・SIWU, Eric R. O.・小山幸一・平田晃義・大山貴史・軒原清史・深瀬浩一

3月28日午前

(12:30~14:00)

微細パターン化技術の多様化-相克と共棲-

3PB-001 多官能架橋型ポリマーを利用した有機 Low-k 材料の開発（住友ベークライト基礎研）○小松聡子・中谷浩司・平井美帆子・多田昌弘

未来材料

3PB-002 電解質ゲル化剤の開発と展開（産総研ナノシステム）○吉田勝・長沢順一
3PB-003 両親媒性オリゴ乳酸-神経再生性ペプチド複合体によるポリ乳酸ナノファイバーの機能化と神経誘導管への応用（国立循環器病研究センター研究所）○柿木佐朗・山岡哲二
3PB-004 有機ナノチューブの大量製造と機能化（産総研ナノチューブ応用研セ）○小木曾真樹・青柳 将・浅川真澄・清水敏美

未来を創る環境・資源テクノロジー

3PB-005 酵素反応のためのメソポーラス材料固定反応器（産総研）○片岡 祥・竹内康隆・遠藤 明
3PB-006 新規材料探索の時間短縮・資源削減を実現させるための統合型分子設計支援システム MolWorks（ビヨンド・コンピューティング）○田島澄恵・長嶋雲兵・千田範夫・秋山 泰・西 克也
3PB-007 粉流体試薬を利用した超安価な目視法 NO₂ 大気汚染測定器をはじめとする種々の大気汚染簡易測定器（自宅）○天谷和夫
3PB-008 磁性ナノ粒子固定型酸化オスミウム触媒を用いたオレフィンのジヒドロキシ化反応（産総研・明大理工）藤田賢一○井上賢亮・土本晃久・安田弘之
3PB-009 マイクロ波を用いるバイオディーゼル燃料の低温連続製造法（崇城大工）○池永和敏・緒方康人・上田祐司・先田業幸
3PB-010 産官学連携を基盤とする新規水処理技術の開発(1)-高機能・高安定な次亜塩素酸水の調製とその応用-（首都大産技高専品川）○田村健治
3PB-011 産官学連携を基盤とする新規水処理技術の開発(2)-ナノバブル水の調製とその応用-（首都大産技高専品川）清水一幸・朝川敏明・萩原忠彦・鈴木善乃里○田村健治
3PB-012 イオン半導体および関連技術を基盤とする環境調和型製品の開発と応用（イオン化学・首都大産技高専品川）荻野 仁○田村健治
3PB-013 ビタミン B₁₂ の触媒システムを用いたヒ素の無毒化とレアメ

タルのリサイクル技術の開発（日本板硝子研究開発部）○中村浩一郎
3PB-014 環境適合型自動炭化装置由来の炭化物の屋上緑化プラントへの応用（首都大産技高専品川）○田村健治
3PB-015 リグノセルロースの常温全量資源化一成分分離と機能制御の同時プロセス（三重大院生物資源）船岡正光○青柳 充・三亀啓吾・野中 寛

低炭素社会を実現する新エネルギー技術

3PB-016[†] 酸化ナノ粒子の液相マイクロ波合成とリチウム電池特性（産総研）○吉永昌史・木嶋倫人・若原園子・秋本順二
3PB-017[†] トンネル構造をもつリチウム電池電極材料の合成と電池特性（産総研）○坂尾光正・木嶋倫人・奥谷 猛・秋本順二
3PB-018 放射線グラフト重合を利用したアニオン交換型電解質膜の開発（原子力機構）○浅野雅春・越川 博・八巻徹也・前川康成・山口進・山本和矢・朝澤浩一郎・山田浩次・田中裕久

未来志向の挑戦型バイオケミカルズ

3PB-019 低コストな活性酸素の蛍光定量法（静岡大工）○平川和貴
3PB-020 バイオプラスチック生産菌 *Ralstonia eutropha* 遺伝子組換え株による植物油からの共重合ポリヒドロキシアルカン酸合成（東工大院生命理工）○福居俊昭・御船 淳・折田和泉・中村 聡
3PB-021 異分野融合技術によるキチン系バイオマスの有効活用（一関高専）○長田光正・三浦千佳・中川裕子・貝原巳樹雄・二階堂 満・戸谷一英
3PB-022 酵母由来の機能性脂質「マンノシルエリスリトールリピッド」の用途展開（産総研環境化学技術）○福岡徳馬・森田友岳・井村知弘・北本 大
3PB-023 高機能性蛍光磁性ビーズを利用する生体分子の高速・高精度検出システムの開発（東工大院生命理工・東工大ソリューション研究機構）○坂本 聡・河田慎太郎・内藤靖之・望月勇輔・岸 寛・畠山士・半田 宏
3PB-024 ONIOM 法によるローヤルゼリーの薬理作用に関する理論研究（神奈川大理）○小竹 充・松原世明
3PB-025 主要組織適合遺伝子複合体(MHC)分子の構造相同性データマイニング解析（産総研）○和泉 博
3PB-026 アミノ基接着プローブの開発による高効率バイオコンジュゲーション法（阪大院理・キシダ化学・ハイベップ研究所）田中克典○中山郁理・SIWU, Eric R. O.・小山幸一・平田晃義・大山貴史・軒原清史・深瀬浩一